



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成25年7月号
国民生活産業・消費者団体連合会

■平成25年度理事会・定時総会・講演会・パーティー

6月10日、ホテルニューオータニにて開催。

総会550名、記念講演会650名、記念パーティー1,200名と多くの方にご参加いただきました。

【定時総会・理事会】

議決事項については、まず平成24年度事業報告にて、その活動内容を報告いたしました。また平成24年度の収支決算について、その収支の内訳を説明いたしました。

続いて定款の改定と役員の変更について諮り、会長代行を設け、その職に(株)ゼンショーホールディングス・小川賢太郎会長兼社長が就任いたしました。そして役員の新任及び交代、平成25年度の事業計画と収支予算についても説明いたしました。

以上の議決事項について異議なく可決承認されました。

最後に会員数(554企業・団体)、役員会の開催日程の報告を行い、滞りなく終了いたしました。



【記念パーティー】

清水信次会長の挨拶に始まり、駆け付けていただいた来賓の方々にご祝辞を頂戴しました。



公明党代表
山口那津男様



農林水産大臣
林芳正様



民主党幹事長
細野豪志様



自由民主党幹事長
石破茂様



乾杯(左より)
東京地婦連・谷茂岡会長
埼玉地婦連・柿沼会長
消費者庁・阿南長官
消団連・河野事務局長
消費科学センター・大木代表理事

限られた時間ではありましたが、参加した皆様には大いに語らい、親睦を深めていただきました。



【記念講演会】

「国民の生活・生命を守る」ためには
～3.11と「地球温暖化」～

小川 賢太郎

株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長



○ 生団連の活動の詳細につきましては、年4回の『生団連会報』および生団連のホームページに掲載されています。

生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取り組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: http://www.seidanren.jp/

■新役員様紹介

6月10日の定時総会・理事会にて新任及び交代となりました役員様10名をご紹介します。

【会長代行】

小川 賢太郎

株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長

【副会長】

柿沼 トミ子

埼玉地域婦人会連合会 会長

河野 康子

一般社団法人全国消費者団体連絡会 事務局長

【常務理事】

村井 正平

株式会社ダイエー 代表取締役社長

宮原 道夫

森永乳業株式会社 代表取締役社長

前原 哲路

ユニーグループ・ホールディングス株式会社
代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)

【理事】

大桑 増嗣

株式会社オークワ 代表取締役会長兼CEO

好本 達也

株式会社大丸松坂屋百貨店 代表取締役社長

夏原 平和

日本流通産業株式会社 代表取締役社長

上田 真

株式会社マルエツ 代表取締役社長

五十音順・敬称略



柿沼副会長



河野副会長

■今夏のお出かけ節電＝クールシェアのすすめ

生団連は、夏のクールシェアをお勧めします！

『クールシェア』とは

一人一台のエアコンをやめ、家庭や地域の涼しい場所をみんなでシェア(共有)したり、自然が多く涼しいところへ行き、楽しみながら節電を行うこと

今年の夏の電力需給は、2010年の夏並みの猛暑や、企業や家庭の皆様における節電の定着などを織り込んだ上で、いずれの電力管内でも電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しです。しかし、大規模な電力事故などが発生した場合には、電力の需給がひっ迫し、停電などが発生する可能性もあります。

したがって、現在定着している節電の取組みが、各家庭の皆様や企業の方などへの影響をなるべく少なくした無理のない形で、確実に行われるようにしていくことが大事だと思います。

生団連は、今夏の節電対策・電力ピークカット対策として「お出かけ節電＝クールシェア」を生活者の皆様、当連合会会員企業の従業員の皆様に呼び掛けています。環境省・各自治体や次世代エネルギーに関する活動を行っている一般社団法人スマートプロジェクトとともに、夏のクールシェアを推進しております。お身体に無理(熱射病等)のないかたちで、がまんの節電ではなく、賢い節電を推進していきましょう。

